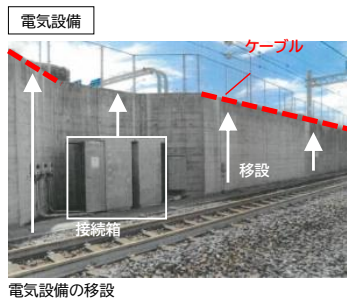
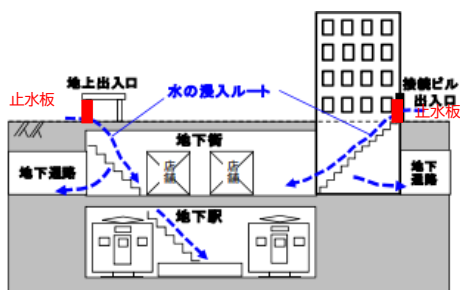


地下鉄、地下駅、電源設備等の浸水対策【国土交通省】

- 施策概要** 地下駅等出入口や電気設備等の浸水被害を防止するため、地下駅等出入口への止水板、防水扉等の設置、電気設備等の移設を実施
- 効果** 地下駅や電気設備の浸水を防止し、鉄道運行への支障を最低限に抑制

■ 全国的な対策と効果

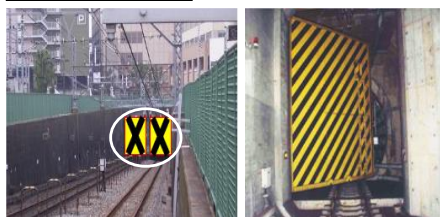
地下駅に接続する施設の出入口等における止水板や防水扉等の設置
 電気設備等の上方移設、止水板や防水扉等の設置
 (令和5年度末時点で対策箇所の**53%**で対策完了)



➢ 止水板の設置により、地下駅への水の侵入ルートを遮断

➢ 大雨による電気設備の浸水被害を回避

トンネル坑口・トンネル内



防水扉(坑口) 防水扉(トンネル内)

地下駅出入口



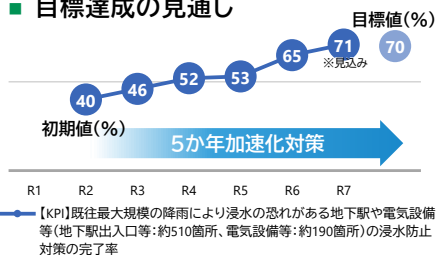
止水板 防水扉

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

| | | |
|-----|-----|-------|
| R3 | R4 | R5 |
| 1億円 | 2億円 | 0.6億円 |
| R6 | R7 | 累計 |
| 2億円 | 1億円 | 6億円 |

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



【KPI】既往最大規模の降雨により浸水の恐れがある地下駅や電気設備等(地下駅出入口等:約510箇所、電気設備等:約190箇所)の浸水防止対策の完了率

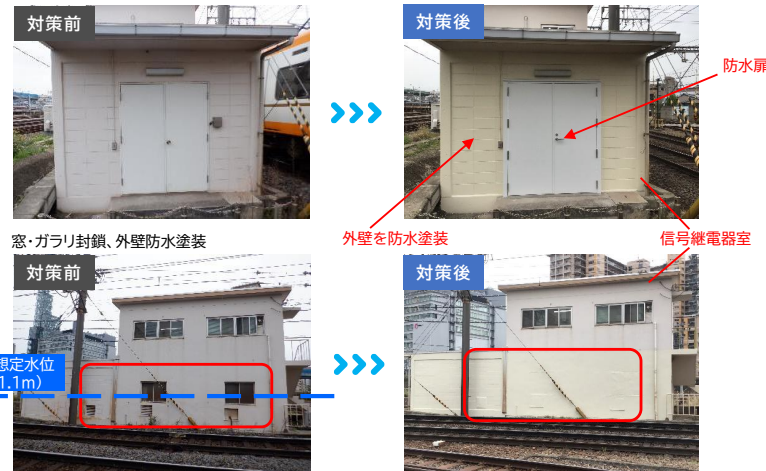
整備事例

電気設備の浸水対策により、鉄道の安全・安定輸送を守る

- 近畿日本鉄道株式会社
- 愛知県名古屋市
- 鉄道施設総合安全対策事業(浸水対策)

■ 信号継電器室の浸水対策

防水扉設置、外壁防水塗装



窓・ガラリ封鎖、外壁防水塗装

浸水想定水位(約1.1m)

■ 事業費

0.17億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.17億円)

■ 事業の背景(地域の課題)

近鉄名古屋線は、愛知県の近鉄名古屋駅から、三重県の伊勢中川駅を結ぶ主要幹線です。今回対策を行った信号継電器室は近鉄名古屋線の鉄道運行を支える重要な設備ですが、地方公共団体等が指定した浸水想定区域に位置しており、河川氾濫による浸水被害が生じた場合、鉄道運行の支障が長期間にわたり生じる可能性があります。



■ 事業の内容

降雨時の浸水被害を防止するため、信号継電器室の出入口に防水扉を設置し、外壁に防水塗装を実施しました。また、浸水想定位置に設置している窓等を封鎖しました。

■ 見込まれる効果

当該場所は、計画規模降雨(10~200年に1回程度の割合で発生する降雨量)において、約1.1m浸水の恐れがありました。この浸水対策により浸水被害を受けない想定です。これにより、大雨発生時においても、信号継電器室への浸水を防止し、鉄道運行への支障を最低限に抑制することが見込まれます。

| | | | |
|-----|---|--------------|---------------------------------|
| (1) | 1 | 人命・財産の被害最小化 | 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 |
| (2) | 2 | 交通・ライフラインの維持 | インフラの老朽化対策 |
| (1) | 3 | 施策のデジタル化 | 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進 |
| (2) | | 災害関連情報の高度化 | |